

高知県総合防災訓練

6月10日、宿毛市の宿毛湾港を会場に高知県総合防災訓練が行われました。この訓練は、大規模地震、豪雨などを想定し、県、市町村および各防災関係機関による実践的な応急対策と、それぞれの連携した訓練を実施することにより、総合的な防災体制の確立を図ることを目的としたものです。

さまざまな内容の訓練が行われた中、黒潮町消防団からは、風水害を想定した「水防工法訓練」に45名の消防団員が参加しました。消防団員の皆さんは、このように訓練を重ね、火災はもとよりこれからシーズンとなる台風などの風水害にも備え、地域の防災リーダーとしてますます頼れる存在となつていきます。

また、地震により孤立したと想定した地域から、自衛隊のヘリで救出する「孤立地域救出訓練」を北郷地区で行いました。当訓練では、住民と行政との連携を図り実



践的な救出訓練を実施することができました。

北郷ヘリポートに着陸し、住民救出を行っている陸上自衛隊のヘリUH-1。



土のう積み工に励む消防団員。洪水により堤防などを越えた場合、土のうを用いて浸水を防ぎます。

～9月2日(日)は「地域のみんで自主防災訓練」です～

今年も、南海地震を想定した防災訓練を、県下統一で、9月2日(日)午前8時から行います。

黒潮町では、各地域の避難訓練や安否確認訓練を中心に、住民の皆さんと、役場、消防団、消防署が合同で防災訓練を実施します。

▼訓練参加の際は以下のことを心がけましょう。

- 「自分の安全確保」「家族の安否確認」「近所の方の避難誘導」など“身近なテーマ”を持つ
- 訓練して足りなかったことやおかしいことを見直す（反省点を次回に生かしましょう）
- 何よりもまず“参加する”



昨年行った浜町地区の炊き出し訓練の様子

非常時には、普段当たり前にできることもできなくなります。ましてや限られた時間の中で適切な避難や救助をすると、さらに困難な状況となります。

自分のために、また、助けたい身近な人のために、訓練しておくことが“そのとき”への大切な備えです。

備えることの必要性を理解し、防災訓練に積極的に参加しましょう。

黒潮町消防団夏季訓練

6月24日、土佐西南大規模公園 佐賀地域東公園駐車場で、黒潮町消防団が夏季訓練を行いました。

今年度は、小型ポンプを保有する9分団が水槽から給水をして火点と呼ばれるのにめがけて放水を行い、そののが倒れるまでの速さと、安全性、正確性、そして迅速性を取り入れた消火活動の基本となる消防操作を行いました。

また、ポンプ車の部は、消防操作の中でも迅速性を重視した実践型放水を行う予定としていましたが、悪天候のために中止となりました。

消防団員の皆さんは、昼間の仕事が終わった後の夜間や、雨が降る中でも日々訓練を重ね、大会に臨みました。

当日はあいにくの雨となりましたが、各分団とも訓練の成果を発揮し、悪天候をものともしない熱気あふれた訓練となりました。

審査結果に一喜一憂し、悔しい思いをされた分団もあるかと思いますが、今回の訓練に向けた練習

などで得た教訓や連帯感、これからの消防活動の中で大きな財産になったことと思います。

参加された団員の皆さん、またその関係者の皆さん、本当にお疲れさまでした。

なお、今回の訓練で優勝した伊田分団は、来年度に開催される高知県操法大会に、黒潮町消防団の代表として出場することが決定しています。

審査結果(入賞)

○小型ポンプの部

優勝 伊田分団

2位 鞭分団

3位 早咲分団

○ポンプ車の部

※悪天候に伴い

中止

○町長特別賞

出口分団

○議長特別賞

伊与喜分団

